

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

① 消費税等の会計処理

消費税等の処理は税込方式を採用している。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産特定預金	470,000,000	0	0	470,000,000
小 計	470,000,000	0	0	470,000,000
特定資産				
みどりの基金預金	18,500,000	0	0	18,500,000
小 計	18,500,000	0	0	18,500,000
合 計 (積立金)	488,500,000	0	0	488,500,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産特定預金	470,000,000	0	470,000,000	0
小 計	470,000,000	0	470,000,000	0
特定資産				
みどりの基金預金	18,500,000	0	18,500,000	0
小 計	18,500,000	0	18,500,000	0
合 計 (積立金)	488,500,000	0	488,500,000	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

9. 重要な後発事象

該当なし。